

とおの 議会だより

2013.7

No.33



主な内容 6月定例会

- ◆定例会等の概要 ————— 2 P
- ◆意見書・請願について ————— 3 P
- ◆6月定例会議案審議結果等 ————— 4 P
- ◆全国市議会議長会表彰伝達式等 — 5 P
- ◆市民と議会との「春の懇談会」開催報告
————— 6 P
- ◆政務調査費報告 ————— 7 P
- ◆予算等審査特別委員会質疑 — 8～9 P
- ◆市民の声コーナー ————— 10 P
- ◆一般質問 5人が登壇 ——— 11～15 P
- ◆私のひとこと、編集後記 ——— 16 P

君たちが「力戦奮闘」の新しい歴史の先導者だ

快晴のもと、統合になった市内3中学校では、体育祭が盛大に開催されました。ここ遠野東中学校でも、連日練習を重ねていよいよ本番です。4色のジャージがグラウンドいっぱいにあふれて、各地域から駆けつけた多くの保護者や家族の皆さんは、生徒たちの雄姿をご覧になり、きっと頼もしく思われたことでしょう。全校生徒162名による東中ソーラン、組み体操などが披露され、その機敏な動きとまともは、新たに踏み出した学校の歴史の確かな始まりを強く印象付けました。「力戦奮闘」先生方と生徒たちとの一体感がひしひしと伝わってくる、素晴らしい体育祭でした。



白熱した議論が交わされた議場内の風景

6月定例会

〈意見書・請願〉

平成25年6月定例会が6月7日に招集され、14日までの8日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問には5人の議員が登壇し、市政を問いました。提案された専決処分3件、条例2件、一般会計補正予算（1億6千万円）、その他3件の全9議案を原案のとおり可決・承認したほか、最終日には発議案4件を可決しました。

6月臨時会

平成25年6月臨時会が6月28日に開催されました。

この臨時会では、提案された議案第42号遠野市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について、活発な質疑が交わされました。

決した意見書は次のとおりです。

議員発議

今定例会では、4件の議員発議案が提出されました。

この意見書は、平成25年6月14日付けで、衆参両院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、復興大臣、原子力損害賠償支援機構担当大臣あてに送付しました。可

◆発議案第6号

解雇の自由化など労働者保護の規制緩和に反対する意見書

◆発議案第7号

「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書

◆発議案第8号

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と

行動を求める意見書
◆発議案第9号
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

意見書

解雇の自由化など労働者保護の規制緩和に反対する意見書

労働者の雇用を脅かすような規制緩和（解雇規制や労働時間規制などの緩和）は決して許されない。使用者側に立った法制度ではなく、労働者の立場に立った本来の労働者保護の法制度と理念の維持を求める。
【意見書の趣旨】
●労働者側に立った本来の労働者保護の法制度と理念を維持すること。
●労働者保護の規制緩和（6月まとめ予定）には盛り込まず、労働

者の代表を含めて議論をやり直すこと。
●人間らしい生活を継続的に営める労働条件の施策構築についての議論をし、その実現を図ること。

「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書

本法律は理念法の色彩が濃く、直ちに予算措置の裏付けをもった個別施策が実施されるわけではない。支援策の詳細も定められていない。本法律の理念を実現するためには、一日も早い「基本方針」の策定が不可欠である。被災者の声を反映した実効性のある具体的な支援策を早期に実施することを求める。
【意見書の趣旨】
●公衆の追加被ばく限度である年間1ミリシベルトを超える放射線被ばくを余儀なくされていく地域全体を「支援対象地域」とすること。

●原発事故被害者の力になるよう、一刻も早く基本方針を定め、被災者の声を反映した実効性ある具体的な支援策を早期に実施すること。
●健康被害の未然防止の観点から、定期的な健康診断や医療費の減免等を早期に行うこと。

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

2010年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議から3年を経過するも「核兵器のない世界」を達成する道筋は未だ見えない。核兵器を根絶するためには、国際社会が一致して核兵器を全面的に禁止する以外に方法はない。国際司法裁判所が断じたように、核兵器の使用は「国際人道法の原則と規則」に反するものであり、世界で唯一国民が核の惨禍を体験した日本には、核兵器の非人道性を訴

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

え、全面禁止を主張する道義的根拠と重い責任がある。日本政府が目標を分かち合う諸外国と連携し、核兵器全面禁止条約の必要性と、その実現のための行動提起を要望する。

●教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
※OECD：アメリカ、日本をはじめとする34の加盟国で構成されている「経済協力開発機構」の略称。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、「人材育成・創出から雇用・就業への拡大」につなげる必要があることから、少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1への復元を求める。
【意見書の趣旨】
●少人数学級を推進すること。学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

請願

◆請願第3号
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める請願

〈請願者〉

岩手県教職員組合 花巻遠野支部
支部長 菊池 利行

採択

ほか1名



鱒沢小学校の複式学級

議員全員協議会 6月28日開催

6月28日に開催された議員全員協議会では、当局から協議事項1件と報告事項4件が提案されました。協議事項は、臨時会での議決案件である遠野市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について協議されました。また、報告案件では、行幸啓の日程について、遠野市原発放射線影響対策本部の取組状況等について、大人の風しん予防接種費助成事業の実施について及び学校給食への異物混入事故の調査結果についての4件が議会に報告されました。



瀧澤 幸成 議員
小松 大幸 議員
織笠 孝之 議員
菊池 邦夫 議員
菊池 民彌 議員
佐々木 誠一 議員
多田 誠一 議員



全国市議会議長会表彰伝達式
期日：平成25年6月7日／場所：遠野市議会 議場

永年の功績をたたえる

本市議会の議員7人が、全国市議会議長会から表彰を受けました。今回の表彰は、全国市議会議長会表彰規程に基づき、市議会議員を表彰するものです。表彰状は、5月22日に日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第89回定期総会で贈られ、6月7日の市議会定例会初日、議場において各議員に伝達されました。表彰されたのは、議席番号順に次の方々です。

議会の動き (4~6月)

- 4月**
 - 11日 広聴広報常任委員会
 - 4日 愛知県議会来遠
 - 23~25日 市民と議会との「春の懇談会」
- 5月**
 - 2日 市政調査会
 - (一関市・国際リニアコリアイター講演会)
 - 8日 宮城県七ヶ浜町議会来遠
 - 13日 千葉県議会来遠
 - 14日 広聴広報常任委員会
 - 15日 愛知県新城市議会来遠
 - 宮崎県都市議会来遠
 - 鹿兒島県南さつま市議会来遠
 - 24日 議会運営委員会
 - 28日 議員全員協議会
 - 29日 兵庫県稲美町議会来遠
- 6月**
 - 4日 議会運営委員会
 - 7日 教育民生常任委員会
 - 10日 議員全員協議会
 - 11日 本会議(一般質問)
 - 12日 本会議(一般質問)
 - 12日 予算等審査特別委員会
 - 14日 産業建設常任委員会
 - 14日 本会議
 - 25日 広聴広報常任委員会
 - 28日 本会議
 - 28日 議員全員協議会
 - 産業建設常任委員会
 - 広聴広報常任委員会

6月定例会議案審議結果

議案名	結果
議案第33号 平成24年度遠野市一般会計補正予算(第7号)の専決処分に関し承認を求めることについて	承認
議案第34号 遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認
議案第35号 遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認
議案第36号 遠野市重要文化財千葉家住宅条例の制定について	全員賛成
議案第37号 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第38号 財産の取得について(除雪グレーダ)	全員賛成
議案第39号 財産の取得について(消防ポンプ自動車)	全員賛成
議案第40号 財産の取得について(国指定重要文化財千葉家住宅)	全員賛成
議案第41号 平成25年度遠野市一般会計補正予算(第1号)	全員賛成

6月臨時会議案審議結果

議案名	結果
議案第42号 遠野市一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について	賛成多数

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	織笠 孝之	菊池 邦夫	菊池 民彌	佐々木 誠一	多田 誠一	安部 重幸	石橋 達八	浅沼 幸雄
○=賛成 ×=反対	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○

※議長は採決に加わりません。
※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

政務調査費を公表します

【平成 24 年度政務調査費執行状況 (平成 24 年4月~平成 25 年3月)】

〈支出費目別内訳〉

(単位：円)

議員氏名	交付額	研究調査費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	支出合計
萩野幸弘	60,000	53,925	0	819	0	0	5,256	60,000
瀧本孝一	60,000	24,475	0	35,525	0	0	0	60,000
多田勉	60,000	24,475	0	0	0	0	35,525	60,000
菊池由紀夫	60,000	24,475	6,610	21,000	0	0	7,915	60,000
佐々木大三郎	60,000	24,475	7,504	0	0	0	21,525	53,504
菊池巴喜男	60,000	53,925	6,075	0	0	0	0	60,000
照井文雄	60,000	24,475	24,785	5,800	0	0	4,940	60,000
荒川栄悦	60,000	24,475	0	35,525	0	0	0	60,000
菊池充	60,000	25,906	0	2,750	0	0	31,344	60,000
瀧澤征幸	60,000	53,925	6,075	0	0	0	0	60,000
小松大成	60,000	0	0	60,000	0	0	0	60,000
織笠孝之	60,000	25,906	0	34,094	0	0	0	60,000
菊池邦夫	60,000	24,475	0	30,285	0	0	0	54,760
菊池民彌	60,000	24,475	0	35,525	0	0	0	60,000
佐々木譲	60,000	0	0	60,000	0	0	0	60,000
多田誠一	60,000	25,906	0	0	0	0	0	25,906
安部重幸	60,000	25,906	0	0	0	0	0	25,906
石橋達八	60,000	24,475	0	0	0	0	0	24,475
浅沼幸雄	60,000	24,475	0	35,525	0	0	0	60,000
新田勝見	60,000	53,925	6,075	0	0	0	0	60,000
合計	1,200,000	564,074	57,124	356,848	0	0	106,505	1,084,551

※政務調査費の残額 115,449 円については、遠野市の歳入に返還されました。

※1人当たり交付額 60,000 円を超える支出については自己負担となっております。

県内13市の政務調査費の交付額について (議員1人当たりの年額)

参考例 (人口順に)

盛岡市 600,000 円	一関市 180,000 円	奥州市 144,000 円	花巻市 240,000 円
北上市 240,000 円	宮古市 150,000 円	大船渡市 84,000 円	釜石市 150,000 円
久慈市 60,000 円	二戸市 120,000 円	遠野市 60,000 円	八幡平市 240,000 円
陸前高田市 90,000 円			

『政務調査費』が『政務活動費』に変わりました。

平成 25 年 3 月改正

平成 24 年地方自治法の改正により、平成 25 年 3 月 1 日から「政務調査費」は、「政務活動費」と改正されました。詳しくは議会だより 32 号 (平成 25 年 4 月発行) をご覧ください。

平成25年度市民と議会との『春の懇談会』を開催しました。

4月23日~25日、9会場

今回は131人(うち女性24人)の市民の皆様のご参加をいただき、138件ものご質問やご意見、ご要望をいただきました。誠にありがとうございました。

なかでも、野生鳥獣対策や中学校再編成後の跡地利用、廃校舎の活用策、風しん対策や冬期間の除雪・排雪対策など、切実な課題や要望などが数多く寄せられました。

これらの内容を、議会運営委員会において、重要度をA(市に要望)、B(市に伝達)、C(議会で取り上げる事項)、D(会場で回答済み)の4項目に分けてランク付けをし、その対処方を協議・検討いたしましたので、今回その結果の主なものを報告いたします。

市民の皆様からいただいたご意見、ご提言を真摯に受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

なお、今回の「春の懇談会」に引き続き、「秋の懇談会」も11月に開催予定となっております。詳しい開催日時等については、次回発行の議会だよりに掲載予定です。引き続き市民の皆様のご指導・ご鞭撻をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

なお、今回開催された市民と議会との「春の懇談会」をまとめた資料は、各地区センターに備えていますので、皆さまどうぞご覧ください。



主なご意見

重要度「A」「B」の2項目を報告します。

- 鹿の駆除について
- 鹿による樹木の被害等について
- 市内高校の存続について
- 将来的な鹿対策について

Aランク (市に要望)

- 宅老所サロンへの補助金について
- 情報ビジネス校のグラウンドの管理について
- 綾織町内の国道工事について
- 土淵バイパスの信号機街灯の設置について
- 土淵バイパスの法面の管理について
- 市道の修繕について
- 認定こども園及び保育協会について
- 景観づくりについて
- SL運行のPR等の取り組みについて
- 鹿対策の電気牧柵の補助事業について
- アオサギ等の駆除について
- 農業用機械の導入について

Bランク (市に伝達)

- 出荷制限されている干し椎茸について
- ふるさと村の入場料の減免について
- 小学校プール等の維持管理について
- 廃校舎の活用策について
- 風しんの予防接種について
- スクールバスのバス停について
- スクールバスの委託について
- スクールバスによる一般市民の輸送について
- 仮設住宅入居者への対策について
- 除雪について
- 除雪の業者以外への委託について
- 商店街の街灯の維持費について
- 市内高校からの市職員の採用について
- 市要望への回答について
- 赤い羽根募金の達成賞について
- バイオマス発電について
- 排水路について

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は多田誠一議員、副委員長荒川栄悦議員）は、専決処分3件、条例2件、予算1件、その他3件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全9議案が原案のとおり可決・承認されました。

国庫支出金減額の経過とそれに伴う関連事業の今後の見通しは

問 国の過疎集落等自立再生緊急対策事業費交付金が大幅な減額となったが、その経過は。

答 この補助金は上限額5千万円で申請したが、最終的な内示額は5百万円であった。国に確認したところ、申請数が当初見込みの4〜5倍の件数とすることで、各市として交付額の見込みが甘かったと反省している。

問 この事業は、小友中学校跡地に産直ともちゃんの加工施設

を整備するものだが、今後の予算措置の見通しは。

答 中学校跡地活用については白紙に戻し、地元と再度協議をするほか、産直の強化や買い物支援の事業費を圧縮して、市費で約2千万円の事業費に組みなおしている。8月頃までには具体案を提示したい。

遠野市重要文化財千葉家住宅の取得後の管理は

問 地域でどれだけ話し合いがなされたのか。

答 公有化に向けた話し合いを3回行った。来年から保存計画



遠野遺産第42号 日出神社

を策定し、具体的な修復工事になるが、文化庁にどの程度期間が必要か見てもらう。それを踏まえ、地域に説明

問 物品販売に関する計画は。

答 地域が活用する場合は許可が必要だが、当面は修復工事が始まるまでの営業となる。

問 計画に千葉家住宅周辺の景観を活かす考えは。

答 建物と景観を活かした計画を立てたい。

問 立竹木の管理は。

答 今後の活用計画で定める。



公有化された国指定重要文化財千葉家住宅

公用車事故多発に對する今後の対策は

問 公用車事故が5件報告されたが、この事実をどのように受け止めているか。

答 今回の5件はこれまでに比べ多いと認識している。近年職員の公用車運転での物損事故等も増加傾向にあるため、安全運転管理者の指導のもと、改善していかなければならないと考えている。

問 かも運転等の徹底が必要と思うが、今後の再発防止策は。

答 職員の安全運転に部課長会議等でことあるごとに伝え、それを各部署の職員に浸透させることを日々行っている。5月にも副市長名で交通安全、法令順守等について職員に通知を出したところであるが、通知だけでなく、徹底して事故を未然に防ぐ努力を今後も実践したい。

施設入所者への虐待の把握と市の指導は

問 昨今マスコミ等で施設入所者への暴行事件などが報道されているが、本市の各種入所施設の中でそのような事実の有無の把握は。

答 確かにそのような事例はある。特に認知症のグループホームで言葉による暴力であるとか、事実関係ははっきりしていないが、身体的な暴力が疑われる事例も発生している。

問 施設の職員の大変さは理解できる。パワハラや言葉の暴力など、入所者と職員相互の交流で改善される面もあると思うが、市の指導内容は。

答 認知症のグループホームは、市に事業所の指定・指導監督の権限があり、定期的な職員や介護の状況を確認している。万が一暴行等の通報があった場合には、直ちに施設に出向き事実確認やそ

問 市指定文化財の赤松が枯れてきているが、周辺地域から状況を聞き取りながら担当部署として管理すべきでは。

答 松くい虫被害が出ている。所有者に情報提供しながら対応を協議していく。

これからの除雪対策はどのようなべきか

問 毎年のことであるが、除雪にきてくれないという苦情がでる。グレーダー台を財産取得したからといって、その解消にはなかなかつながらないと思う。機械の入らない狭い所、除雪弱者等への対策も必要と思うが。

答 遠野市では、23年度に遠野市除雪対策検討委員会の提言を受けている。一つ目は、除排雪の方針等の理解を得るため、市民や関係者に周知・徹底することだ。二つ目として、除雪状況を把握しつつ、小型ロータリー車、ダンプ等の組み合わせ



市街地の狭い道路の除雪風景

沿岸被災地後方支援事業費返還の内容と理由は

問 遠野まごころネットから事業費（委託料）の一部が返還される内容と理由は。

答 岩手県と当市の事務指導により、当

水不足による農作物への影響は

問 春先の水不足により、田植えをあきらめた農家がいると聞かすが、その実態を把握しているか。

答 水不足で田植えができず、そして田植えをしていない農家、そして水不足で困っている農家があることは知っているが、その面積などについては把握していない。

問 早急に調査し、自己保全管理にならないようにしなければならぬ。また、震災の影響で地域によつ



被災地でのまごころネットの活動風景



全天候舗装整備が望まれる市陸上競技場トラック

問……………
市職員の採用のあり方については、今まで長い期間、初級試験のみの実施だが、高学歴社会の時代にある時、「上級」試験等の導入を図るべきではないか。

答……………
県内で上級試験を実施しているのは、盛岡市を含む5市である。釜石市を除き、県内の人口規模の大きい自治体を取り組んでいる。現在求められている職員像は、「やる気・本気・根気」のある能動型の職員であり、学力だけに偏らない、人物も重要視し、積極性、表現力、バランス感覚等がある職員の登用を図っている。

市職員採用試験における上級試験導入の考え方は

一括質問方式（文責本人）

市は上郷町初山山林共有組合からの山林の寄附を受けるのか

問……………
上郷町初山山林共有組合が所有する山林14万6,747平方メートルを、組合の管理運営上、市に寄附したいとのことである。こ

の山林を市が寄附採納することがベストな財産と思うが、市長のご見解を伺う。

答……………
市では、行政目的に合致しない財産の寄附は受けられないこととしている。行政目的に合致し、寄附採納が可能でも、「境界が未確定」や、「相続登記が未完了」等、所有権移転登記に支障がある場合は断ることがある。この山林は、過去において旧上郷村の学校林として管理された山林で、旧上郷村農協への譲渡を経て、現在、山林共有組合が管理している。敷地内には、市指定文化財等の史跡や、上水道施設が設置されていることから、市有林候補地などの複合的な行政財産として、寄附採納の方向で進めている。

※採納：寄附（無償で提供すること）の要望が出されたものを市が受け入れること。

市陸上競技場トラックの整備を

問……………
岩手国体開催等に合わせ、陸上競技場トラックの全天候舗装整備を図るべきだ。じんぎすかんマラソン大会の開催を日本陸連に申請登録し、走者の公認記録の取得を。

答……………
岩手国体開催に合わせて、一部改修を考えている。公認記録を必要とする選手の参加がない。完走証で十分であ

菊池 民彌 議員
(新興会)

市民の声

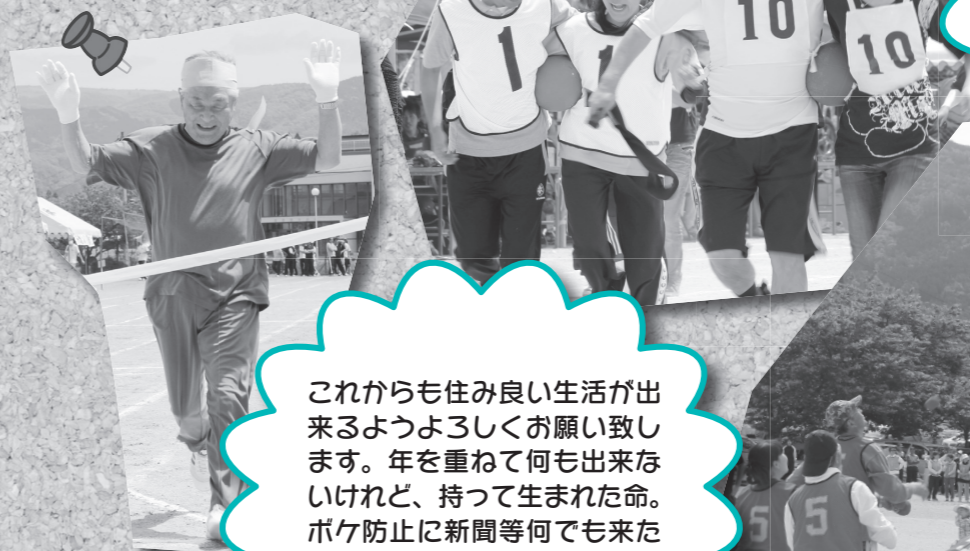
このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介します。

写真：6月2日開催の市内町民運動会より



盛りだくさんの紙面です。市民の代表としてのご活躍ご苦労様です。紙面も5段組から6段組に変更。クイズコーナーの新設、色々工夫していますね。新風が吹いていますね！
(松崎町白岩 E・Kさん)

遠野市の未来に対して、どのように改善されていくか期待しております。2階建て市営住宅(材木町)を子育て住宅と限定せずに募集してほしいです。ペットも飼える市営住宅を希望します。
(早瀬町 Y・Dさん)



これからも住み良い生活が出来るようよろしくお願い致します。年を重ねて何も出来ないけれど、持って生まれた命。ポケ防止に新聞等何でも来た物は目を通して見ます。
(宮守町下鱒沢 K・Tさん)



議会だより 32号（平成25年4月発行）においてのお詫びと訂正

正誤表

ページ	修正箇所	誤	正
3	3月定例会4行目	基本方針演術	基本方針演述
3	請願第1号一部採択の理由の13行目	違法であるという最高裁の判決が出されており	違法であるとした福岡高裁の判断に誤りがあるとした最高裁の判決が出されており
7	旧教育財産施設管理事業の事業額	7,796万円	796万円

関係者並びに読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

一問一答方式（文責本人）

地区センターの今後のあり方は

問……………

地域活動専門員は、現地区センターの役割や体制面で地域課題やニーズに対応できているかどうかを検証する目的で配置されたが、取り組み内容の中間検証はなされているか。

答……………

専門員ごとにテーマを持って活動しており、その成果は検診率の向上、自主防災組織の結成支援や防災訓練等の指導、特産品による6次産業化支援など地域課題解決に向けた支援を行っている。

問……………

「地域でできることは地域で」の考え方を基本に、地域の行政拠点を軸とした総合サービスの展開を検討すべきと考えるが。

答……………

「進化まちづくり検証委員会」を設置し、総合的な地域づくりに向けて住民と連携しながら協議を進める。また、地域課題に対応する地区センター機能のあり方を検証し、その結果を踏まえて限られた人的、財政的資源を有効活用して地域課題を解決する。

問……………

市民の健康維持と増進に向け、柔軟かつ即応できる保健師を身近な地区センターに配置すべきでは。

答……………

少子高齢化が進行するなか、健康寿命を延ばすことは地域の健康づくりの大きな視点であり「進化まちづくり検証委員会」で地区センターの役割・機能のあり方を検証し方向性を定めていく。

市の非正規職員の配置の考え方は

問……………

配置目的や配置基準はあるか。

答……………

地方公務員法の規定に基づき、市の規則や要綱により配置している。

問……………

正規職員と非正規職員の仕事内容に違いはあるか。

答……………

臨時職員は急を要する場合や事務繁忙対策として、また、非常勤

職員は専門知識や業務経験の有識者を配置しており、ほぼ正職員と変わらない内容である。

問……………

非正規職員の賃金は労働対価に見合ったもの、及び生活できるレベルにすべきと思うが。

答……………

職種により、その専門性や難易度等を考慮し、また、県内他市との状況を考慮しながら検討する必要がある。



盛大に行われた上郷町民運動会



佐々木 大三郎 議員 (清風会)

一括質問方式（文責本人）

地域要望の結果を明確に提供する仕組みを

問……………

地域から求められた要望に、回答がはっきりしないとの声がある。市内全地域の共通課題でもある。現在、その結果をどのように連絡されているのか、地区センターごとのホームページを活用し、要望事項と回答を提供する仕組みができないか。

答……………

長年要望されていて実現されていない事項や、回答に時間を要する事項等も一部あるが、これらについては、その実現に向けた対策を十分検討する必要もある。また、要望に対する回答がしっかり伝わ



予防接種風景

風しん予防接種に助成を

っていない事例については、事実関係やその原因を調査し、確実に情報を提供する体制を構築したい。

問……………

風しんの流行が拡大傾向にある。早急に対策を講じなければならぬ。予防接種が必要だが、予防接種費用の助成ができないか。

答……………

特に妊娠20週頃までに風しんにかかると、赤ちゃんの耳、心臓、目の障害、いわゆる「先天性風疹症候群」が現れる心配がある。これらを踏まえ、国や県の動向を見ながら対策について検討してきたが、感染予防を徹底するため、予防接種に係る一部助成金等の支援対策を、7月から実施できるよう準備を進めている。

問……………

熱中症が心配される。本格的な季節の前に、子ども、高齢者等の熱中症対策はどうするのか。

答……………

乳幼児や高齢者、基礎疾患を持つておられ

問……………

「耳マーク」を行政等の窓口に掲示し、便宜を図るべきでは。

答……………

耳が「聞こえにくい」という市民のために、不安や不便を感じさせないよう市の窓口や公共施設に「耳マーク」を掲示する。また、集音器や助聴器の設置の検討、「耳マークカード」の配布もさっそく実施する。



石橋 達八 議員 (無会派)

一括質問方式（文責本人）

隣接自治体との 総合支所間どうしの 互恵関係構築を

問……………

隣接自治体の本庁舎間の連携交流はもちろ
んのこと、隣接総合支
所や市境地域どうしの
連携・交流の現状は。
また、職員の相互派遣
交流や事業の共同取り
組みの促進、地域の相
互活性化で緊密な互恵
関係の構築を図るべき
ではないか。

答……………

当市の宮守総合支所
と隣接する花巻市の「
大迫総合支所」とは、
市道長崎線で昨年12月
から道路管理、冬期間
の除雪作業等を一体的
に行い、地域の連携・
交流では、宮守町の湯
屋自治会と大迫町の落
合自治会が平成21年度
から3ケ年、同市道の
草刈りや支障木の撤去

作業を協働で実施し、
両地域から喜ばれ、住
民ニーズへの速やかな
対応や利便性の向上に
つながっている。

「東和総合支所」と
は、平成元年からの「田
瀬湖湖水まつり」への
協力や、田瀬湖一斉清
掃&ごみ川柳大会など
の事業を合同で行って
いる。

隣接自治体と当市の
総合支所とは、地元の
地域づくりの実績を裏
付けに、今後も観光や
地域振興に向けてしっ
かりと連携し、特にS
L運行プロジェクトで
は、東和総合支所とは
いつそう連携を深めて
いかなければならな
い。

小規模直売所等への 支援策創設を

問……………

補助事業で建設・供
用されている風の丘・
めがね橋直売所・産直
ともちゃん・夢産直か
みごうなどの大きな産
直施設とは別に、見落
とされがちな自助努力
で運営されている小規
模な直売所等へ、生産
者の公平・平等の観点
から市単独の補助支援
制度を創設する考えは
ないか。

答……………

財政状況が厳しい中
で限界はあるが、公平・
平等という中であって
そのような方々にも極
め細かにピンポイント

で支援することは大事
なことである。
様々な団体・協議会
等の決算で繰越金が多
い実態があるが、現状
の仕組みをもう一度し
っかりと検証して、行
政だけではなく関係機
関と連携しながら、少
しも背中を押して応
援し、地域のコミュニ
ティづくりにつながる
取り組みに、小規模で
も懸命に頑張っている
直売所施設の支援に努
めて参りたい

【その他の質問】

●「原付バイク等への
ご当地デザインナンバ
ープレート」の導入につ
いて」



東和総合支所



大迫総合支所

一層の連携・交流が望まれ
る花巻市の東和総合支所と
大迫総合支所

瀧本 孝一 議員
(新興会)



市内商業の現状と 振興対策は

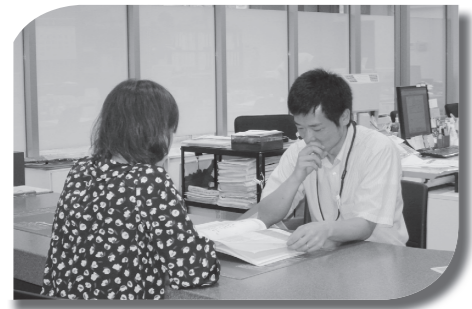
一括質問方式（文責本人）

問……………

市内商業が低迷傾向
にある中、空き店舗対
策や商店街に対するソ
フト事業への助成等強
化が重要と思うが現状
をどの様に捉え、振興
対策を講じていくのか。

答……………

商工会への創業相談
件数は増加傾向にあ
り、20から30代の若手
創業者が増えている。
遠野すずらん振興協
同組合やみやもり商業
開発協同組合も含め、
市内174店舗で利用
できる商品券事業が定
着している。商店街全
体が一体となって経営
戦略の取り組みを展開
する必要があり、商工
会の役割は大きい。
空き店舗への家賃助
成と修繕費助成と商店
街活性化へのソフト事



商工会窓口で
の相談風景



渋滞する下鮎沢の沢田橋

増加する中、設備の維
持や個々の経費負担面
で苦慮している。市の
街づくり対策の一環で
対応すべき課題では。
答……………
平成23年度に総合計
画後期計画で街路灯整
備を計画したが、震災
で一時中断している。
LED電球への交換
等も含め、事業の実施
を計画したい。また、
維持管理の状況も再度
調査し、商店街と協議
しながら事業展開を図
る。

高速道進展に伴う 関連市道の 条件整備は

問……………

高速道路の整備に伴
い交通量が増加する
中、周辺市道の高館線、
光興寺上の山線、県道
下組町クランクは危険
度が増すのではと心配
する。市民生活に配慮
した対応をすべきでは。
答……………
宮守インター開通直
後の沢田橋交差点付近
の交通量は、6,000
台だったが、3ヵ月後
には6,890台と交
通量が増えている。国
道107号及び283
号は朝夕の時間帯等混
雑し、それを避けるた
めに隣接市道等に迂回
する車が増えている。
現状の隣接市道等は

急カーブ、狭隘な路線
で、大型車両のすれ違
いが困難な箇所もあ
る。市道未改良分65km
の整備を優先しなけれ
ばならない。第4期生
活に身近な道路整備事
業計画、橋梁維持修繕
計画により、市全体の
バランス、交通量、緊
急性等を考慮した市道
改良整備に努める。

問……………

遠野インター開通後
の遠野バイパスの信号
機交差点などは渋滞が
予想され、周辺市道の
交通量が増えるのでは。
早目の整備推進を。

答……………

現状を踏まえ、交通
安全にも留意しなけれ
ばならない。スピード
感ある維持補修になお
一層努めていく。

多田 勉 議員
(清風会)



第2回 とこの議会だより



○欄に適切な言葉を入れてください。

その①

議案第 42 号は、賛成○人、反対○人の賛成多数で可決されました。

その②

議員 1 人あたりに交付される政務活動費は年額○万円です。

その③

今秋に開催される市民と議会との「秋の懇談会」は○月に開催されません。



この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》

クイズの答え・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えてください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で 3 名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。

(当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)

《あて先》

〒028-0392
 遠野市宮守町下宮守 29-77
 遠野市議会事務局 宛

《しめきり》

平成 25 年 8 月 16 日 (当日消印有効)

～第 1 回クイズの答え～

①託された責任を未来につなぐ予算

②8 校から 3 校 ③80 年

～ 当 選 者 ～

R・T さん(松崎町白岩) E・K さん(松崎町白岩)

Y・D さん(早瀬町)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
萩野	瀧本	多田	佐々木	菊池	瀧澤
幸弘	孝一	大三郎	由紀夫	征幸	

〔広聴広報常任委員会〕

(多田勉)

わたしのひとこと



たか 橋 淳 さん
 (松崎町)

とこの遠野に馴染む

先日、遠野伝承園にて語り部である佐々木イセさんのお話を聞く機会がありました。お話ししたのは、カップパ、ザシキワラシ、オシラサマなどの有名なお話の数々。同じ岩手県内ですが、奥州市江刺区出身の私の耳では聞き取れない言葉もちらほら。楷書で綴られた柳田國男氏の「遠野物語」とはまた違い、イセさんの言葉一つひとつに一気に惹きこまれるものがありました。

外から見ているからでしょうか？そうかもしれない。灯台下暗し、いざ私も遠野に溶け込んでしまうと、その魅力は当たり前のもとなってしまう、忘れてしまうかも知れません。謙遜して語らなくなるかもしれません。

このコーナーは、市民の皆さまの町づくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

連日夏日が続く今日、市内でも水不足が深刻化し、田植えを諦めた農家もあると聞く。私は今年から慣れない野菜作りに挑戦。苗は買い揃えたが、畑は土ほこりが舞うような状況。苗は窮屈なポットの中で、広い畑への一日も早い定植を待っている。

6月議会の議場もアツかったなあ。民謡議員による一般質問での冒頭の問いに答える形で、市長も統投を表明。

市民は、議会と当局の白熱した議論を期待し、熱い視線を注いでいる。その思いに込めるため、議員一同頑張る所存だ。

編集後記

皆様のご提言をお待ちしております